

審議会等名	令和5年度 第2回 図書館協議会
公開の別	全部公開
開催日時	令和5年11月16日(木) 午前10時～11時20分
開催場所	中央公民館 1階 大集会室
傍聴者の有無	なし
出席者氏名	<p>【協議会委員】 倉品委員長 若月副委員長 山宮委員 佐藤委員 間藤委員 吉田委員 鈴木委員 まるの委員</p> <p>【説明のための職員】 (生涯学習課) 永井課長補佐 泉田主任 (指定管理者) 篠原館長 川口副館長 加藤総務責任者 夏目三条営業所長</p>
報告	<p>(1) 令和4年度図書館事業告 (2) しかけ絵本コーナーに (3) 電子図書館の利用促進</p>
協議題	<p>(1) 読書会について (2) 自動車文庫の運行について</p>
篠原館長	(あいさつ)
永井課長補佐	(あいさつ)
倉品委員長	それでは報告(1)「令和4年度図書館事業報告」の説明をお願いします。
篠原館長	(令和4年度図書館事業報告の説明)
倉品委員長	報告(2)「しかけ絵本コーナー」の説明をお願いします。
篠原館長	(しかけ絵本コーナーの説明)
鈴木委員	現在栄分館にあるしかけ絵本の蔵書数と日本一をキープするためにどのくらいの頻度で新しいものを購入しているのか。
篠原館長	正確な蔵書数は後日示す。購入について、飛び出す絵本は購入することが難しいが、乳幼児が触れても大丈夫なもの、小さなパペットがついているもの、少しめくれるようなものについては、新刊が出た際にはなるべく購入するようにしている。前回の第1回協議会時に、なるべく修理をするようにと意見が出ましたので、蔵書数が減らないよう修理ボランティアの方にも協力いただき、なるべく除籍せず元の形に修復できるように取り組んでいる。

篠原館長	本館は児童コーナー側の入口から入ってすぐの目に留まる場所に設置した。しかけ絵本でも借りられる本があることが認識され、すぐに貸出できる本がなくなった。現在補充の準備をしている。
山宮委員	嵐南小学校では毎月1回ボランティアによる読み聞かせを行っていただいている。低学年にはしかけ絵本もあり、子どもたちも大喜びで大変ありがたい授業になっている。ここで使う本をボランティアの方が探している。分館にはこの本があるといった情報提供がXに投稿されていると、ボランティアの方に探してもらわずともここにあると言うことができる。
篠原館長	Xには本館と下田分館にてしかけ絵本コーナーを始めたとの投稿のみである。今後本の紹介などもしていければ良いと考えているところである。
倉品委員長	「電子図書館の利用促進」の説明をお願いします。
篠原館長	(電子図書館の利用促進の説明)
倉品委員長	使用してみたが、返却期限を気にせずに済むのが良い。期限になると自動的に返却されるので、紙の本のように図書館まで返却に行かなくて良い。
篠原館長	紙の本では1冊を一人でしか読むことができないが、読み放題の本もあり、学校で使ってもらうために青い鳥文庫を購入するなど、一度に何人もの人がアクセスしても大丈夫なものもあるので、是非ご利用いただきたい。
若月副委員長	今後色々まちやまから出て行って、この点が従来よりもすごく便利になってというところを強調して一度使ってみてほしいという進め方をしてはどうか。通常情報が伝わりにくい人、そういう人たちにこそ使ってほしい。メリットを強調するとより以上に関心を持たれるような気がする。
篠原館長	現在県立図書館でも電子図書館サービスを始めているが、文芸書などはほとんど無く専門書などが中心で入れている。是非三条市の電子図書館を知り合いに勧めていただきたい。
まるの委員	電子図書館は良い機能で良いサービスであるが、書店を経営しており読み放題の本が有ると買わなくても読めてしまう時代なのかと思う。良い悪いではなく図書館の役割として問題ないことなのか。素晴らしい取り組みなので今後全国的に広がっていくと良いと思うが問題はないのか。
篠原館長	読み放題ができるものとできないものとコンテンツは分かれている。電子図書館をもっと学校で使っていくようにと考えて、朝読書で使うようなものは良いのではと考えている。他に雑誌はなるべく新しいうちに楽しんでいただきたいので是非読み放題のものがあると良いのでは。昔から書店と図書館との関係は様々なことがある。それぞれの良さを生かしつつ、お互いに協力し合いいろいろな形で本を楽しんでいただければよいと思う。
まるの委員	本を楽しんでほしいという思いはどちらも共通することだと思うので、これを理解したいと思う。
倉品委員長	基本的には対立するものではなく、読書の引き出しがたくさんあればいい。学校から図書館への生徒児童向けの電子図書館説明会への依頼数はこ

	んなに少ないのか。中学生にはもっと戦略的に働きかけてもらったり、校長先生方がもっと理解して先頭に立ってという期待をしている。
篠原館長	図書館に声を掛けてもらえたら学校に出向いて出前授業を行う。先生を介してではなく直接生徒児童に直接使い方を説明するのが一番分かりやすいと思っている。説明を聞いた児童が保護者に電子図書館の使い方を教えてもらったとの報告をしてくれたという話も聞いた。こういったことも利用促進に繋がるのではないかと考えている。
山宮委員	このシステムが導入された時、どちらの学校においてもこのように使えるのだと職員研修会を開いた。ただそこから先、図書館職員が来て話をすることで効果的な部分が違うということを感じた。図書館の力を借りれば現場の解消に向かうが、この手のものを学校職員が一切やらなくていけないと思ってやってしまうところがあるのだと感じた。
倉品委員長	議題（１）「読書会について」の説明をお願いします
篠原館長	（読書会についての説明）
倉品委員長	三条市の読書会がスタートしたのはかなり前だと思うが、そういった経緯は永井課長補佐は知っているか。生涯学習課の兼ね合いの中で大勢の人に読書会で感想を話し合ったりして親しんでもらうというそういった思いの中で始まったのだろう。
永井課長補佐	そう思うが私も生涯学習課に来てまだ２年くらいで過去のことがあまりわからないが、今の指定管理者になる前もこのような状態であったと聞いている。
倉品委員長	私がこういった話をさせてもらったのは、読書会というものの根本的ところ、制度的なところと、あるいは少し注意して直してもらって済むような問題と、バスのことはこのようなことも出てくるのかと驚くが、その辺りを整理して新しい図書館になったのですっきりした形で皆が使いたり活動できると良いと思っていた。
若月副委員長	前回話を聞いて問題が出てきているという話があった。一度皆さんに集まっていたいただき規則を周知して認識してもらおう。その中でグループの人たちに任せるといのか自主的にお互いを認識しながら勧めて行くのが良いのでは。上からであると受け身になるので様々な違いが出て来るのかもしれない。まちやまができて一度ここで仕切り直し、整理する必要が出てきたというふうに認識している。
倉品委員長	あるサークルに入っているが、普通は会の組織があり、予算があり、ここを借りる時はお金を払うので１時間 200 円で借りてサークルの活動を行っているが、その辺り既存の読書会との不公平感が気になる場所である。
篠原館長	ボランティアも含めるとかなりの数になり、例えば１日に１つの団体が利用と考えるとほぼ毎日どこかの団体が使うという形になる。月に数度の活動をしている団体もあり、日程によっては１日で３つも４つも読書会やボランティアによる利用で会議室が塞がっていることもあるため、連絡な

	く部屋の利用が無いと使いたいと希望した人が使えないというのは大きな問題になっている。それほどに毎日貸館希望の電話を受けている。
鈴木委員	実際に読み聞かせの団体で利用している。私の団体は無断で休むことはなく、事前に連絡をして部屋の使用に関しては滞りなく活動ができています。やはり前回にもあったようにまちやまになる以前からの読書会がどのような要件かということは、20年前であり当時を知っている人が引退し、引継ぎもないまま続いている。委員長が言ったようにまちやまが開館して1年を経過した状態で利用している全ての団体を集めて説明会を設け、新たに申請書を提出し更新情報を毎年提出するというのが、誰がどのように変わっても会に参加しているメンバーが認識できる状態を作ることがお互い一番納得できることではというのはある。私の団体は人数が少ないため、ボランティア室で間に合うが、時間を過ぎても活動開始しない場合にはペナルティも必要だが、いつ来るかわからないからではなく時間を過ぎたら学習室として開放するといった一文があっても良いと思う。明文化したものをもらえたら共通認識してこの条件で登録しようといった活動条件を満たすような形の組織となって良いのではないかと。ただ5人以下で活動している団体に関しては体調不良で休会などをどう考えるかも必要だと思う。
篠原館長	現在の更新については12月頃に手紙を出して1月末までに持参いただき翌年度の活動日程などを相談している状況である。
倉品委員長	それを今年は一同に介して説明会や話し合いをするという提案で良いか。
篠原館長	集まってまでは決まっていなかったが、今後読書会を作りたいと思っている方にも既存の団体に加えての説明会というやり方もあるのではと考えている。
佐藤委員	今どれくらいの読書会があるのか
篠原館長	ボランティアを含めて31団体である
倉品委員長	私が気になったのは見ると俳句の会、短歌の会などサークルとして活動している場所がないので借りたいということであれば問題が無いのであるが、読書会はイメージ的には本を持ち寄って読んだり感想を話し合ったりというのが頭にあるので、読書会とサークルの線引きが難しいのでは。
篠原館長	みんなで持ち寄って感想を言うような一般的な読書会活動をしているところもあるが、そうでない読書会もある。
倉品委員長	読み聞かせなどはまさしくそのようなことで、今度はどんな本を読もうかといった話し合いをするには本もあるし良い場所であるので活用してもらいたい。バスでどこかへ出かけていくようないろいろな活動があるようだ。
篠原館長	図書館は決して活動しないしてほしいということを言っているのではない。ただ団体数も増えてきたので正しい使いい方をしてほしいというお願いである。
吉田委員	読書会はいろいろな恩恵を受けている。ルールをきちんと守って人に迷惑を掛けない。そういったところではないか。

鈴木委員	資料に5人以下とあるが6人以上ということか。
篠原館長	5人以上の誤りである。4人では不可ということである。
倉品委員長	良い機会であるので使ってもらいたい、活発に活動してほしいという気持ちはいっぱいであるので、対策をまた考えてほしい。
倉品委員長	議題(2)「自動車文庫の運行について」の説明をお願いします
篠原館長	(自動車文庫の運行についての説明)
佐藤委員	子どもたちはしかけ絵本が大好きなので自動車文庫にもしかけ絵本を載せてもらえないか。
篠原館長	自動車文庫には以前から数は少ないが載せていた。
倉品委員長	素晴らしいことである。離島などでこういったことをやっている所があるが、大きな三条市でも大変だとは思いますが、待っている子どもたちや大人の方の顔が目に浮かぶようである。課題になっているのは伝えた部分であるか。
篠原館長	高齢で図書館まで足を運ぶのが難しい方がいらっしゃることもわかった。以前は巡回先の学校も市民の方が自由に利用できたところもあったが、最近は入りにくい傾向があるようである。これについては各校に市民の利用が可能かを確認しながら、なるべく多くの方に自動車文庫を利用できるようにならないかと検討をしていく。
倉品委員長	事務局からは他にあるか
篠原館長	1点確認である。読書会の説明の中で対策を考えているとしたが、この形で進めていって良いか。
倉品委員長	対応策のスケジュールはこれでということか。
篠原館長	ではこのような形で進めていくことで同意を得たとする。
倉品委員長	大変だが頑張って進めていってほしいということで話が進んだと思う。他に委員より質問があるようなので発言をしてもらおう。
吉田委員	図書館の閲覧席の椅子が硬く、冷たい。長く座っていると疲れる。座布団を用意するなど工夫をして座りやすくしてほしい。私も何人かから言われている。
永井課長補佐	椅子を今から全部交換は無理な話であるので、座布団の貸出のようなことができないか。この辺りは指定管理者と相談をしていく。
倉品委員長	他にはあるか
鈴木委員	二点ある。一つは、まちやまのサイエンスホール前で小学生が例えばバトミントンなど遊んでいる。本来どうということまでして良いのか。勉強をしている人の脇で自転車を停めたまま話をしている人がいるなど利用する上でどういったルールがあるのか。いろいろなイベントをしているので本来自転車で通ってはいけないとか、道具を使った遊びはいけないなどルールがわからない状態で時々危ないという光景を見受けたりする。外であるの

	<p>で図書館職員が見守ることはできないと思う。芝生でサッカーをするのはわかるが、高齢者が日向ぼっこをするところも見かけるので教えてほしい。もう一点、図書館協議会の名簿がほしい。こういった立場の話をしているのかで、いろいろな視点で見られることがわかる</p>
篠原館長	<p>今後看板を設置する予定となっている。危険を伴うもの、例えばスケートボードをしている時などは注意をしている。サイエンスホールはガラス張りであるので硬いボール遊びなどは控えてほしい。自転車に関しては通り抜けるだけは容認しているが、ぐるぐる走り回るなどは控えてほしい。ボール遊びは芝生や砂場を利用してほしい。実際に保育園が砂のところで遊戯をしたり、芝生でお子さんがボール投げをしたりという光景は見かけるようになった。</p>
倉品委員長	<p>時間内での終了への協力に感謝する。次回は2月頃となる。また色々な意見などを吸い上げて話し合いをして更に素晴らしい図書館にしていきたいと思う。</p>
倉品委員長	<p>議長役を下りて事務局に返す。</p>